

かささぎ



北京日本人学校
学校通信 第2号
令和元年5月31日
校長 栗本 和明

新年度のご挨拶

北京日本人学校運営理事会
理事長 岩見 健太郎

2019年度の北京日本人学校運営理事長を拝命致しました，日立(中国)有限公司の岩見と申します。私は2017年5月に北京に赴任し，同月から北京日本人学校運営理事会に参加させて頂き今年で3年目を迎えます。この一年間，理事会のメンバー，栗本校長先生，小川教頭先生を始めとする学校教職員の皆様のお力添えの元，北京日本人学校の運営に努めて参りたいと考えております。何卒，宜しくお願い申し上げます。

さて，近年，世界情勢が大きく変化する中で中国は様々な分野で急速に発展を遂げ，世界に大きな影響を与える国に成長してきたことは論を待ちません。子供たちが日常生活を過ごす中で触れる中国の人，習慣，システムなども刻一刻と変化を見せているものと思います。

そのような環境の中で毎日を過ごすことは子供たちにとってまさに得難い，貴重な異文化体験になるものと考えます。

皆様ご承知のように，私ども北京日本人学校運営理事会は北京で生活し，北京で学ぶ児童生徒の皆さんが安心して，明るく楽しく過ごすに相応しい学校環境を整備するべく施策の検討・その実現にむけて活動を行っております。2018年度はこの3月に多目的室の整備を行った他，国旗掲揚塔の安全対策などを実施して参りました。毎日の学校生活が更に素晴らしいものになるように，今年度も計画的に施策を進めて参りたいと考えております。引き続き皆様方のご理解とご支援を賜りたく宜しくお願い申し上げます。

一方，北京日本人学校においては平成19年度には688名の児童生徒が在籍しておりましたが，2019年4月の時点では334名とその規模が大きく減少しております。一定程度の児童生徒数を確保することは学校運営上も重要な要素になります。日本を離れ海外で生活することは，ある程度の不便さを伴うものですが，北京日本人学校では栗本校長先生を筆頭に高いレベルで日本の学習指導要領に則った教育を展開して頂いております。学校運営理事会と致しましても児童生徒数確保に対して，微力ながらも貢献できるよう工夫を凝らして参りたいと考えております。

最後になりましたが，保護者の皆様・学校関係者の皆様におかれましては，運営理事会に対するご意見・ご要望がございましたら忌憚なくお聞かせ頂けますようお願い申し上げます。新年度に当たっての私のご挨拶とさせていただきます。



多目的室のスクリーン設置



小学3年 学校の周り探検



中学1・3年 北京世界園芸博覧会

新赴任職員紹介 ～倉片治子事務局長～

みなさん、こんにちは！新任事務局長の倉片です。5月6日からこの学校で働いています。私は西武ライオンズの本拠地、埼玉県所沢市出身です。先月まで北京のおとなりの天津（てんしん）で働いていました。

天津にいたときには、まわりに歴史好きの友達が多く、北京や山東省、河北省にある遺跡や歴史に出てくる場所によく行きました。北京にはたくさん素敵な場所がありますが、私がいちばん好きなのは故宮の午門です。他には、毎朝歩く学校への道もいい感じですよ。みなさんの学校生活が順調であるよう、今後事務局長として努力します。どうぞよろしくお願ひします。



「6年生と新体カテスト

小学部1年部

5月10日、6年生と一緒に新体カテストに取り組みました。1年生にとっては、初めてのテストです。いろいろな種目を一つ一つ教えてもらいながらの計測でした。たてわり班のメンバーでチームを組み、ローテーションしながら各種目に取り組みました。グラウンドでは、ソフトボール投げを行いました。ソフトボールを握る。円の中に立って、少し助走をしてからの投球。初めてのことでしたが、6年生の丁寧なアドバイスのおかげで無事計測できました。体育館で行った立ち幅跳びや反復横跳び、上体起こしでは、6年生が少しでも良い記録が出るように、計測するとともに温かい応援の声をかけてくれました。1年生も真剣な表情で一生懸命取り組みました。最終種目は、20メートルシャトルランです。持久力が重要な種目で、だんだんと息が上がってきます。みんなの声援を受けて、自分の力を出し切った1年生たちに、大きな拍手が起きました。6年生とまた一つ思い出ができました。



たてわり 何人？

小学部			令和元年5月31日現在				
	男子	女子	合計		男子	女子	合計
1-1	9	8	17	4-1	8	12	20
1-2	9	9	18	4-2	9	11	20
1-3	9	8	17	5-1	17	10	27
2-1	12	10	22	5-2	16	11	27
2-2	11	12	23	6-1	10	6	16
3-1	9	10	19	6-2	10	6	16
3-2	9	11	20	小総計	138	124	262

踏みしめた一歩は中国ほど大きい

～全校遠足を終えて～

小中連携部

全校児童生徒がたてわり班に分かれ北京のシンボルでもある世界に誇れる天壇公園へ全校遠足に行きました。

思春期を迎え、普段は家族との会話も多くないと聞こえてくる中学部3年生も、たてわり班活動の班長・副班長を務めている時はどこかの大学から来た教育実習生かと思まがうほど班に目を配り、積極的に声をかける姿が見られました。

ある生徒が「生徒会に入りたいと思ったきっかけは9年前、小学1年生の時のたてわり班のペアが生徒会長でとってもかっこ良かったからです。」と話していました。たてわり班の良さは、異学年交流を通して興味や次の目標をもつことにつながるきっかけを与えてくれる場だと感じました。

さらに、たてわり班の児童生徒みんなが4月から変わった自分を意識しながら、天壇公園を今までより、少し力強く踏みしめます。初めてのたてわり班昼食の時には先輩に付き添われても緊張で自己紹介ができなかった小学部1年生が、帰りのバスではみんなにしっかりと感想を言いました。さて生徒会に興味をもった中学3年生は、9年前の初めての全校遠足ではどんな感想を言ったのでしょうか。

中学部							
	男子	女子	合計		男子	女子	合計
1-1	8	8	16	3-1	14	9	23
1-2	9	7	16	中総計	40	37	77
2-1	9	13	22	総合計	178	161	339

